

令和7年 北秋田市教育委員会
10月定例会 会議録

1. 招集年月日 令和7年10月30日(木)
2. 招集場所 北秋田市民ふれあいプラザ 大研修室
3. 開会及び閉会 開会：午後2時54分 閉会：午後4時21分
4. 出席委員 教育長：佐藤 昭洋 教育長職務代理者：佐藤 英樹
委員：佐藤 正俊 委員：蒔苗 隆
委員：藤本 基子
5. 欠席委員 なし
6. 出席職員 教育次長：金澤 誠 教育総務係長：櫻田 正明
教育総務課長：池田 恒平 学校給食係長：笹代 孝徳
学校教育課長：茂内 公貴 学校教育係長：金 幸子
生涯学習課長：山本 明美 文化財係長：渡辺 靖光
教育総務係(書記)：藤本 来夢
7. 傍聴者 なし
8. 報告事項 (1) 教育長報告
① 動静報告
(2) 各課所管事項
・教育総務課
① 10月行事報告及び11月行事予定
② あきたリフレッシュ学園
③ 学校給食
・学校教育課
① 10月行事報告及び11月行事予定
② 学校の状況
・生涯学習課
① 10月行事報告及び11月行事予定
(3) 各課工事等発注状況
9. 案件
(1) 議案第25号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
(2) 議案第26号 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果分析の公表について

10. そ の 他

- (1) 「きらり☆きたあきた」の販売について
- (2) 次回の教育委員会定例会の開催日について
- (3) その他

11. 会 議 録

(午後2時54分開会)

| | |
|--------|--|
| 佐藤教育長 | ただいまから教育委員会10月定例会を開会いたします。 それでは署名委員の指名をさせていただきます。本日の署名委員は佐藤英樹委員にお願いします。 |
| 佐藤英樹委員 | 承知しました。 |
| 佐藤教育長 | 次に、次第2番「前回委員会の会議録の承認」です。事前に事務局から配付されている「9月定例会」の会議録の内容について、訂正等がある方はいらっしゃいますか。 |
| 委員全員 | ありません。 |
| 佐藤教育長 | 訂正がないということであれば、会議録については承認とさせていただきますよろしいですか。 |
| 委員 | はい。 |
| 佐藤教育長 | 皆さんの同意をいただきましたので承認とします。 |
| 佐藤教育長 | 続いて、次第3番「諸報告」です。 それでは(1)私、教育長から動静について報告いたします。 9月27日、比内支援学校(本校)の竣工式典に出席しました。平成30年に始まった校舎の改築事業は、校舎・体育館・寄宿舎の整備に加え、昨年度にはグラウンドも完成し、6年をかけて整備が完了しました。本市からも同校へ通う子どもがおり、日頃からお世話になっていますが、明るく魅力的な校舎が完成し、すばらしい環境が整ったと感じております。 28日、100キロチャレンジマラソン大会が開催されました。この日、50キロの部のスターターを務めさせていただきました。会場に行く前に、岩野目駅に寄り、阿仁学園の子どもたちが描いた作品を見てきました。今回の「広報きたあきた」の表紙には、50キロのスタートの様子が掲載されており、その中に佐藤光子議員が走っているお顔も写っておりました。この100キロマラソンには、小学生は鷹巣小学校、中学生は阿仁学園を除く3校から、合わせて80人ほどの児童生 |

| | |
|-------|---|
| 佐藤教育長 | <p>徒がボランティアとして参加していました。特によかったと感じたのは、エイドを回った際のことです。50キロのスタートを終えてから少し時間を置いて、すべてのエイドに顔を出しました。荒瀬のエイドは車を停めるのが難しいため朝のうちに挨拶を済ませ、笑内のエイドにも朝の段階で伺いました。エイドでは、以前からボランティアを続けている方たちが「若い人たちが入って、エイドの雰囲気明るくなった」と喜んでいて、子どもたちも初めてながら一生懸命取り組んでいました。もちろん、上手にできていない部分もありましたが、初めてということを考えれば、これから年を重ねるごとにどんどんよくなっていくのではないかと感じました。昨年も少しは参加していましたが、今年は人数が増え、全体としてとてもよい雰囲気になってきたと思います。地域を支える行事には、地域の子どもたちが入り、一緒に支えていくことが大切だと改めて感じたところです。</p> <p>30日、高齢者叙勲伝達式を行いました。今野富士夫先生は元気なご様子で出席されました。一方、桂邦夫先生はご出席が叶わなかったため、ご自宅を訪問し、奥様に勲記と勲章をお渡ししました。</p> <p>10月2日の市教委学校訪問を皮切りに、今回の訪問は4日間で6校を回るというハードスケジュールでございましたが、これで今年度の学校の状況を一通り確認できたことは大変有意義であったと感じています。</p> <p>3日、県北地区社会教育関係職員研修会が開催されました。鹿角等も含めた社会教育に関わる方々が集まり研修を行うもので、今回、本市で実施されました。研修内容としては、阿仁の異人館伝承館を見学し、その後、内陸線に乗りお弁当を楽しみ、縄文小ヶ田駅で降りて伊勢堂岱遺跡を見学するというスケジュールでした。参加者の方々は非常に喜ばれたとのことで、北教育事務所の主任社会教育主事からその報告を受けたところです。</p> <p>同じ日の午後には、不登校対策検討委員会の第3回目の会議が開催されました。詳細については課長から後ほど報告があると思いますが、今年度は全3回の会議が終了し、多くの提言を頂きました。その提言が来年度の事業に生かされ、不登校対策に繋がることを期待しています。</p> <p>学校祭は、4日の鷹中、森中、合中からスタートし、5日には阿仁学園祭、東小、綴子小、清鷹小、11日は鷹小、合川小、12日は米内沢小と、すべて訪問しましたが、どの学校も多くの人々が来場し、非常に盛況でした。特に阿仁学園祭では、約57人の児童生徒に対して、関係者を除いて280人もの来場者があり、体育館は満員状態でした。私は9時半までしか見れませんでした。根子番楽なども披露されていました。どの学校でも、それぞれの地域で行われている伝統芸能が盛り込まれており、ふるさと教育やキャリア教育がしっかりと反映されていることを実感しました。</p> <p>4日の午後からは、スポーツ協会創立20周年記念講演会が開催され、秋田ノーザンハピネッツの中村元ヘッドコーチが講演を行いました。年齢を感じさせないエネルギッシュな講演で、1時間半立ちっぱなしで話され、非常に精力的な姿が印象的でした。内容も、バスケットボールをしている人々にとって大変興味深いものでした。</p> |
|-------|---|

| | |
|-------|---|
| 佐藤教育長 | <p>5日には「る・それいゆ30周年記念コンサート」があり、満席の観客を魅了する素晴らしい歌声を楽しみました。東京から手伝いに来ている方もいたようで、本当にこの地域の誇りだと感じております。</p> <p>9日、28日と、北教育事務所長の学校訪問があり、私も同行しました。28日には東小学校での全校合唱で所長を迎え、訪問の締めくくりとなり、所長も大変喜んでいる様子でした。</p> <p>同じく9日、森吉コミュニティセンター改築に関する住民説明会が開催されました。詳細については、先ほど（総合教育会議で）山本課長から報告があった通りです。</p> <p>10日、市校長会の経営研究会がありました。本日、別紙で校長会の資料をお配りしていますが、表裏のプリントになっています。まず2学期の行事についてお話ししたあと、ふるさと教育、キャリア教育、そして「きたあきたふるさとサミット」について取り上げました。今回のふるさとサミットでは、NTTデータが第三次総合計画の策定にあたり分析した、市の様々なデータを子どもたちにも提示し、それを踏まえて自分たちの考えをまとめてもらいました。その際、子どもたちが書いた意見を資料に抜粋して掲載していますので、後ほどご覧ください。また、子どもたちが地域貢献活動に大変熱心に取り組んでいることについても紹介しています。なお、秋の全市一斉クリーンアップは熊の出没により中止となりましたが、来春の実施に期待しているところです。資料3「県学習調査の活用」について、私はあまり点数のことを言うことはないのでありますが、12月に実施する県の学習状況調査は、序列化や点数付けが目的ではなく、子どもたちの学習状況を把握するためのもので、たとえば、5年生の結果が93%であれば、残りの期間で県平均の100%に近づけるよう、どこでつまづいているのかを分析し、必要な力を身につけさせることが重要です。A小学校はその点にしっかり取り組み、その同じ学年が4月の全国調査で県平均を大きく上回る結果を出しました。こうした事例を示しながら、「何のためにテストを実施するのか」ということを、改めて各学校で話し合ってほしい旨をお伝えしました。詳しくは配付資料をご覧ください。</p> <p>12日は、米内沢小学校の150周年記念式典が行われ、その後に学習発表会、午後からは記念祝賀会が開催されました。式典には市長にもご出席いただきました。祝賀会については実行委員の強い要望により実施されたものです。コロナ以降、祝賀会が行われる機会はほとんどなくなっていたのですが、久しぶりの開催に米内沢小学校の保護者の皆さんの熱意を感じました。</p> <p>18日、秋田活性化中学生選手権県北大会が森吉コミセンで行われ、参加校のレベルが年々上がっていることに驚かされました。どの学校も素晴らしかったのですが、阿仁学園が優秀賞を受賞し代表校に選ばれました。11月15日の全県大会には、能代一中と阿仁学園の2校が出場します。阿仁学園は今年で4年連続の出場となりますが、これまで2連覇を果たしています。今回は、「子どもたちの伝承芸能合同発表会」は課長に任せ、ぜひこの活性化選手権の県大会を見てきたいと思っています。</p> |
|-------|---|

| | |
|-------|---|
| 佐藤教育長 | <p>同日の市産業祭は、あいにく天候には恵まれませんでした。中学生の子どもたちが市の活性化について提案をしたということで、非常に良かったと感じています。また、産業祭そのものも、建設業や消防活動の体験コーナーが設けられていて、とても嬉しく思いました。やはり、子どもたちが集まると、その親や祖父母も足を運び、全体が盛り上がるなど、これは縄文まつりもそうでしたが、子どもたちの存在がいかに大きいかわくつく感じました。</p> <p>最たるのが、26日の文化祭の演示部門です。文化功労賞の授与式が終わった後、二つ目の演目として子どもたちのダンスがあり、約40人の子どもたちが参加してすごい数でしたけれども、皆さんご覧になった通り、文化会館はほぼ満席だったのが、演目が終わった途端に3分の1ほど席が空いてしまったことに驚きました。子どもたちの力がこれほどまでに大きいのだと、改めて実感した瞬間でした。</p> <p>戻りまして20日、二本松市教育委員会の方々が来市されました。今回は、渡辺教育長をはじめ、6人の校長先生や教頭先生方が来られ、非常に有意義な交流となりました。教育長からは後日、「ぜひ来年もまた派遣したいのでよろしくお願いします」とお礼の電話をいただいております。</p> <p>21日、高鷹大学学園祭が開催され、3クラブの演示、7クラブの活動発表、そして作品展示が行われました。今回はコムコムの多目的ホールでの開催でしたが、座席が満杯になるほどの大盛況で、多くの人々が訪れていました。</p> <p>22日、地元県議との意見交換会がありました。教育委員会としては、1. あきたリフレッシュ学園、みらい応援留学などの不登校対策事業、2. 部活動の地域移行の現状、3. 幼保小の架け橋プログラム、4. 不登校対策検討委員会の実施という、4点について提案させていただきました。</p> <p>23日、年長児公開保育が鷹巣中央保育園で行われました。これは架け橋プログラムの一環で、私も見学に行きました。子どもたちは「基地をつくろう」という遊びに取り組んでおり、先生が木で囲いを作ると、子どもたちはビニールで屋根をつけるという計画を立てます。ビニールを木工ボンドで屋根を取り付けようとしませんが、大人から見ると無理なことは分かります。それでも先生は何も言わず、子どもたちに試行錯誤させていました。ボンドでは屋根がつかないことに気づいた子どもたちは相談し、今度はガムテープを使って屋根を固定し、無事に完成させました。その後は「テーブルを運ぼう」「椅子を運ぼう」と活動が発展し、最終的には野菜ジュースを用意するなど、子どもたちがチームで考え、協力しながら学ぶ姿を見せてくれ、非常に感心しました。私は最後まで見ていませんでしたが、後で保育園の先生に、最後に椅子に座ってみんなで顔を見ながら話す時間を設ければ、小学校につながっていくということ、友達の工夫したことを聞くことで、小学校での学びにつながっていくのではというようなことをお伝えしました。</p> <p>24日、東北道徳研究会秋田大会が山瀬小学校と田代中学校で開催されました。本市からは、米内沢小学校の6年生と阿仁学園の8年生が移動教室として参加</p> |
|-------|---|

| | |
|----------|---|
| 佐藤教育長 | <p>し、実際に授業を見てもらうという取組を行っていました。米内沢小学校6年生の担任の鈴木先生と、阿仁学園の宮崎先生は、自ら手を挙げて参加したという話を聞き、率先して自分の授業を披露するという姿勢は素晴らしく、本市の先生方のレベルの高さを改めて感じました。授業内容も非常に充実していました。</p> <p>28日、県都市教育長協議会教育長・関係課長会議が大館市で開催されました。会議では、大館市が実施してきた架け橋プログラムやふるさとキャリア教育の紹介の後、2点のテーマについて話し合いました。1点目は改正教特法への対応、いわゆる働き方改革について各市での進め方、2点目はICTの活用についてです。本市からは課長がICT活用について発表しました。</p> <p>29日、三重県鈴鹿市の自民党会派の市議会議員3名が阿仁学園を視察しました。鈴鹿市でも義務教育学校を新設する予定だということですが、規模が非常に大きく、3つの小学校を統合して中学校と小中一貫教育校にする計画のため、阿仁学園の事例は直接参考にならない面もありました。それでも学校そのものの取組は高く評価され、「K.K. うめえ BEAR 給食」も試食していただき、北秋田の給食の素晴らしさを感じてもらいました。</p> <p>以上が私の報告でしたが、ただいまの報告について、質問や意見などはございませんか。</p> <p>なければ次に移ります。</p> <p>(2) 各課所管事項の報告について、はじめに教育総務課からお願いします。</p> |
| 池田教育総務課長 | <p><10月行事報告及び11月行事予定について報告></p> <p>資料のとおり</p> <p><教育総務課報告概要></p> <p>2. あきたリフレッシュ学園</p> <p>(1) 利用状況 学園生 12名(中学生10名、小学生2名)</p> <p>前月比 増減なし</p> <p>体験入園0名</p> <p>前月比 1名減</p> <p>(2) 活動内容 資料のとおり</p> <p>3. 学校給食</p> <p>(1) 10月の地場産メニューの紹介 資料のとおり</p> <p>(2) 事故報告 資料のとおり</p> |
| 佐藤教育長 | <p>ただいまの報告について、質問や意見などはございませんか。</p> <p>なければ、次に学校教育課からお願いします。学校教育課の報告の中で、職員及び児童・生徒に関する内容については、プライバシーに配慮し、内容を非公開としてもよろしいでしょうか。</p> |
| 委員全員 | はい。 |

| | |
|----------|---|
| 佐藤教育長 | <p>同意をいただきましたので、職員及び児童・生徒に関する内容については、非公開とします。</p> <p>事務局は非公開資料を配付してください。</p> <p>では、学校教育課長から所管報告をお願いします。</p> |
| 茂内学校教育課長 | <p><10月行事報告及び11月行事予定について報告></p> <p>資料のとおり</p> <p><学校教育課報告概要></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童・生徒数 10月1日現在 1,373名(小学生857名、中学生516名) 前月比 小学生2名減、中学生増減なし 2. 職員の異動等 資料のとおり 3. 不審者等の情報 資料のとおり 4. クマやサルを目撃情報への対応 当日配付資料のとおり <p><非公開資料説明></p> |
| 佐藤教育長 | <p>ただいまの報告について、質問や意見などございませんか。</p> |
| 佐藤英樹委員 | <p>今朝の秋田魁新報に、秋田県内小中学校の不登校数が非常に増加しているという記事が一面に掲載されていました。本市でも、不登校の生徒が増えている現状があります。記事にも書かれていましたが、保護者の不登校児に対する受け止め方や考え方が緩くなってきていることも、一因として挙げられています。しかし、やはり学校に行くことは子どもにとって楽しい出来事であるべきだと思いますので、その点を注視しながら、今後も指導していただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p> |
| 茂内学校教育課長 | <p>承知しました。最近では、登校刺激をあまり与えない傾向が見られます。カウンセリングを受けても、無理をしないというのが主流になっているため、なかなか難しい面もあります。しかし、今おっしゃったように「学校が楽しい」ということを、私たちが作り上げていかなければならないと思っていますところ。</p> |
| 佐藤教育長 | <p>以前にも不登校の生徒が阿仁学園に転校したケースを紹介したことがあります。昨日も学校に行った際に、その子たちと話をしたのですが、非常に生き生きとしていて、楽しく勉強していました。しかし、例えばリフレッシュ学園に関わっていた子は、長い間学校に行っていなかったため、一次関数がわからないのに、今の学年で二次関数の勉強をしなければならないという状況です。学習内容に無理が生じてしまっていますが、その生徒のプライドも尊重しなければならないということで、数学の自由進度学習やマイプラン学習などを取り入れ、自分のペースで進める学習形態を工夫して取り組んでいます。その結果、その生徒自身も自</p> |

| | |
|----------|--|
| 佐藤教育長 | <p>分がわからないところまで遡って勉強できる体制を整え、みんなの中でその生徒のプライドを傷つけることなく学びを進められるようになっていきます。こういった取組が丁寧にできているところこそ、阿仁学園の良さだと感じています。学校でも、勉強がもっとわかるように、わからないことがあっても楽しくて、自分の居場所があると感じられるような学校経営を考えていかなければと思っています。（阿仁学園は）学区をなくしたので、そういった阿仁学園の良さを上手く生かしていくことが重要だと感じています。</p> <p>昨年度のデータが本日発表になったため、全国の状況はまだ十分に把握できていませんが、1,000人当たりの不登校児童生徒数について、秋田県全体では小学校が19.8人に対し、本市は18.2人、中学校も、秋田県全体が65.5人であるのに対し、本市は52.4人で、数値だけ見ると県平均に比べて低くなっています。しかし、まだ心配のある子どもたちも存在していますので、この数字に安堵することなく、引き続き注意を払いながら対応していくことが重要だと考えています。</p> <p>ほかにございせんか。なければ、次に生涯学習課からお願いします。</p> |
| 山本生涯学習課長 | <p><10月行事報告及び11月行事予定について報告> 資料のとおり</p> |
| 佐藤教育長 | <p>ただいまの報告について、質問や意見などはございせんか。</p> |
| 藤本委員 | <p>来月16日の森吉文化交流会は、森吉中学校3年生が合唱で参加予定ですが、米内沢小学校の子どもたちも参加するのでしょうか。</p> |
| 山本生涯学習課長 | <p>米内沢小学校の子どもたちも、学習発表会で行った駒踊りや奴踊りなどの発表を計画していると伺っていますが、しっかりした情報ではありません。</p> |
| 佐藤教育長 | <p>ほかにございせんか。 なければ、次に移ります。（3）各課工事等発注状況について、説明をお願いします。教育総務課長。</p> |
| 池田教育総務課長 | <p><各課工事等発注状況> 令和7年9月1日～令和7年9月30日 資料のとおり</p> |
| 佐藤教育長 | <p>ただいまの報告について、質問や意見などはございせんか。 なければ、次に 次第4番「案件」に移ります。 （1）議案第25号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について、説明をお願いします。教育総務課長。</p> |
| 池田教育総務課長 | <p><議案第25号を説明></p> |

| | |
|----------|--|
| 佐藤教育長 | ただいまの説明について、質問や意見などはございませんか。 |
| 藤本委員 | 3点あります。27 ページの「花いっぱい運動推進事業」では、実施状況に書かれていなかったコムコムでの応募者の写真展示についても、評価委員の方が触れてくださっていて、事業のことをよく見てくださっているなと思いました。また、38 ページの「方言保存継承事業」については、評価委員も書いてくださっているように、これまで発刊されてるものをまとめるなど、今後の方向性についても早めに考えていただきたいと思います。最後に、37 ページの「民俗芸能大会事業」の評価委員の意見の「民俗」の漢字が違っていますので、修正をお願いします。 |
| 池田教育総務課長 | ありがとうございます。修正いたします。 |
| 佐藤教育長 | ほかにございませんか。 ないようでしたら、ただいまご指摘のあった点については、事務局のほうで修正するというので、本案件については、原案のとおり決定してもよろしいでしょうか。 |
| 委員 | はい。 |
| 佐藤教育長 | 皆さんの同意を得られましたので、原案のとおり「議決」とします。 続いて、(2)議案第 26 号 令和 7 年度全国学力・学習状況調査の結果分析の公表について、学校教育課長から説明をお願いします。 |
| 茂内学校教育課長 | <議案第 26 号を説明> |
| 佐藤教育長 | ただいまの説明について、質問や意見などはございませんか。 |
| 藤本委員 | 今回の学習状況調査の結果のことではないのですが、中学校 3 年生定期テストや実力テストの結果資料を見ますと、0 点や 10 点の分布が数人いることがあります。中学校 3 年生の今、そのような状況の生徒いることは、小学校から中学校にかけての遅れの積み重ねが大きく影響しているのではないかと感じています。基礎が身についていないことが、今回の調査結果にも表れているのではないかと考えています。先ほど教育長が紹介してくださった阿仁学園のように、遅れた部分を丁寧に補完していくことが本当に大切だと改めて感じました。 |
| 茂内学校教育課長 | 算数や数学などは積み重ねが大切で、確かにその結果が数字に現れているのだと思います。しかし、そのお子さんが学習障害などを持っている場合も考えられるので、そうしたケースもしっかり見ながら、個別に学習を提供していくことが大事だと思っています。また、できていない部分に関しては、各校でレベルや学 |

| | |
|----------|---|
| 茂内学校教育課長 | <p>年を選べるようなドリルも電子ドリルとして導入しておりますので、阿仁学園のように、できていない部分まで遡って学習できるような体制を各校で整えていけるよう、話し合いを進めていきたいと考えています。</p> |
| 藤本委員 | <p>息子の学年には支援クラスがないので、特にそのような遅れが不登校を引き起こす原因にもなるのではと感じます。学校に行っても、授業には参加せず、学校行事だけに出席するというような状況です。こうした状況が続くと、学習面での遅れが深刻になり、最終的に学校から遠ざかってしまうのではないかと思います。</p> |
| 佐藤教育長 | <p>夏休みに、孫がパソコンを持ってきて、家でAIドリルをやり始めました。やっている内容を見ると、いろいろな問題を自分で選んで挑戦し、間違ったところはすぐに指摘され、再度挑戦できる仕組みになっていて、とても効果的だと感じました。このように、家にタブレットを持ち帰らせて、自分で学習するという自発的な取組も良い方法だと思います。特に、人数が多い学校では、個別に補充指導をするのが難しいことが多いので、こういった個別学習を進められる環境を整えることが重要だと感じています。また、インターネット設備が整っていない家庭にも対応できるよう、市教委からモバイルWi-Fiを提供はできますので、家庭にインターネット環境がない場合でも、学習を進められるような仕組みは整っていると思います。あとは、各学校がどれだけこの取組を進めていけるかが重要ですので、学校教育課として、今後さらに頑張してほしいと思います。</p> |
| 佐藤正俊委員 | <p>それに関係して少しわからないことがあるのですが、今までは、ドリルを家に持ち帰ってやり、学校に持って行って先生が検査して丸付けをしたりしていました。しかし、AIドリルの場合、先生がどのようにチェックするのか気になります。家でやったドリルの進捗や結果を、先生はきちんと確認できるシステムになっているのでしょうか。</p> |
| 茂内学校教育課長 | <p>AIドリルでは、インターネットに接続している子どもたちの進捗状況がすぐに確認できます。また、どこで躓いているのか、どこまで進んでいるのかも先生が把握できます。</p> |
| 佐藤英樹委員 | <p>都会の方では、経済的に余裕がある家庭の子どもたちは、分からないところがあれば塾に通わせることができる環境にあります。しかし、この地域ではそのような環境が十分に整っていません。ですので、学校の先生にお願いして、どの子がどの部分でつまづいているのかをきちんと分析してもらい、個別に指導をしてもらうことが非常に重要だと思います。このように、検査結果を活用して、今後の生徒たちの成長に繋げていけることが大切です。今後もそのような指導をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> |

| | |
|----------|--|
| 茂内学校教育課長 | 個々の子どもたちは、それぞれつまづいている部分が異なりますので、その点をしっかりと把握し、必要な補充を行っていくことが大切だと考えています。各学校ではすでに取り組を進めていますが、その取組をさらに徹底していきたいと思っています。 |
| 佐藤教育長 | ほかにございませんか。 なければ、原案のとおり決定してもよろしいでしょうか。 |
| 委員 | はい。 |
| 佐藤教育長 | 皆さんの同意を得られましたので、原案のとおり「議決」とします。 続いて 次第5番「その他」に移ります。 (1)「きらり☆きたあきた」の販売について、説明をお願いします。学校教育課長。 |
| 茂内学校教育課長 | <「きらり☆きたあきた」の販売について説明> |
| 佐藤教育長 | ただいまの説明について、質問や意見などはございませんか。 |
| 佐藤正俊委員 | とてもよいことだと思います。うちの家族も見て、「こんなのがあったんだ」とか、「こういうのを思い出した」と話していました。以前にも聞いたかもしれませんが、今現在、例えばどこかの公共施設にこういったものは置かれているのでしょうか。 |
| 茂内学校教育課長 | 図書館には若干置いてありますが、あまりたくさんは置いていません。 |
| 佐藤正俊委員 | もっと人目につく場所、例えば公民館や人の出入りがある場所、あるいは市民病院のように待ち時間が長いところに置くと楽しいだろうなと思います。そうすることで、待ち時間もあつという間に過ぎるのではないかと感じました。できれば、人目につく場所に置いて、希望者が手に取れるようにすると良いと思います。 |
| 佐藤教育長 | 販売に当たっての広報活動も必要になってくるということですね。 |
| 茂内学校教育課長 | 今のご提案は、大変よい周知方法だと思いますので、検討したいと思います。 |
| 佐藤教育長 | ほかにもいかがですか。 今まで（「きらり☆きたあきた」が）欲しいと声かけられることはありましたか。 |
| 佐藤英樹委員 | ありました。本県出身で県外に住んでる方が、どこかで見たのでしょうね。「手 |

| | |
|--------|---|
| 佐藤英樹委員 | に入れたいけれど、どうにかならないか」と相談を受けたのですが、その時は「生徒たちのためにつくったものだから、販売はできない」とお伝えし、理解してもらいました。こういう販売が始まると聞くと、大変喜んでくれると思います。 |
| 佐藤教育長 | <p>先日視察にきた市町村でも、本市は毎年新入生に配っていることを伝えると、大変驚いていましたね。しかも3年に1回ずつ改訂版も出してるので、それもまた驚いていました。</p> <p>これは議決事項ではございませんが、皆さんから、進めてみたらというご意見も頂きましたので、進め方については課内で検討しながら進めていってほしいと思います。</p> <p>続いて、(2) 次回の教育委員会定例会について、事務局からお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>次回の定例教育委員会は、11月27日(木)午後1時30分から北秋田市役所第二庁舎1階第三会議室を予定しております。</p> |
| 佐藤教育長 | <p>(3) その他、何かございますか。</p> <p>特にないようであれば、以上をもちまして教育委員会10月定例会を閉会いたします。</p> |

(午後4時21分閉会)